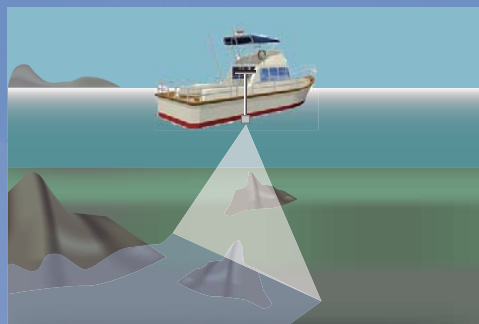


ナローマルチビーム方式 深淺測量

ナローマルチビーム測深機は、海底地形を面的にとらえることの出来る機器で、近年の港湾測量では利用が激増しています。従来のシングルビーム測量では把握できない海底の微地形や魚礁の分布などの確認が効率的かつ高密度に実施できます。

ナローマルチビーム方式 深淺測量



■ 普及型高分解能フォーキャストマルチビーム測深機



当社で保有しているナローマルチビーム測深機 (SONIC2022) による測深では、音響ビームを扇状に照射し、クロス合成された鋭い音響ビームを使うことにより一度に多数の水深を面的に取得することが出来ます。この技術により、海底地形や水中構造物等を詳細に確認することが可能となり、水中地形、経年変化、貯水容量等を正確に把握できます。

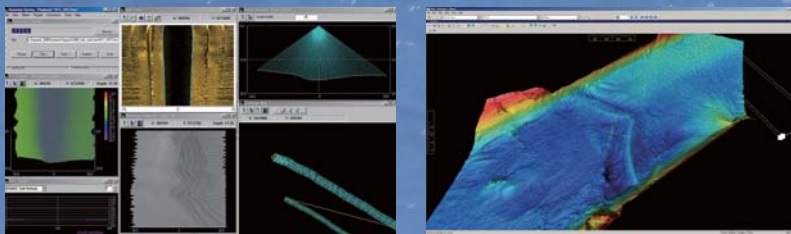
船と直行方向に最大 160° スワッスを 256 本の音響ビームで一度に測深します。200 から 400kHz の周波数を任意に選択でき、フィールドに応じて最適な周波数を選択可能です。これにより、他のシステムとの干渉を避けることも可能です。

また、従来のプロセッサモジュールは全てソナーヘッド内部に収納され、船上ユニットは、簡単に移動可能な小型インターフェイスモジュールのみとなりました。

これにより、この 1 台で多種多様な測量フィールドへ適応可能です。

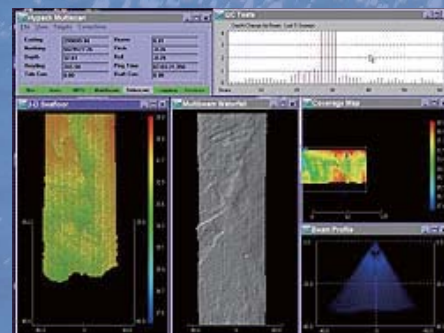


■ 統合型水路測量ソフトウェア【HYPACK (R) MAX】



HYPACK MAX は海洋測量、港湾工事の全てのニーズに対応した、多機能・統合型データ収録処理ソフトウェアです。

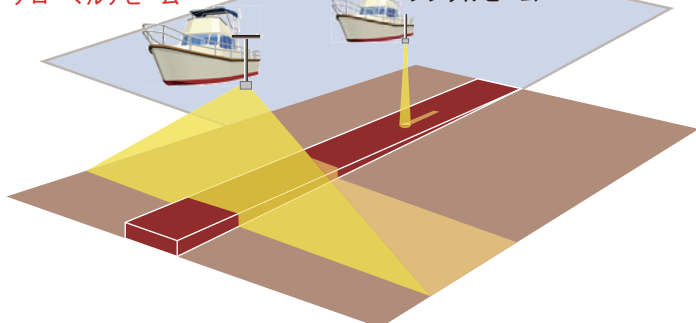
測量の計画から操船誘導、リアルタイム地形表示、データ収録・編集、地形解析、数値水深図／等深線図出力までを WindowsPC 上の統合環境で実現します。



■ ナローマルチビーム測深器とは・・・

ナローマルチビーム

シングルビーム



ナローマルチビームは、シングルビーム測深器が直下一点に音響ビームを放射するのとは異なり、256 本の音響ビームを放射し測深します。そのため、従来のシングルビーム測深機に比べ海底面を面的に捉えることができ、広範囲かつ未側線のない高密度な測深データを得ることができます。

多様な
調査に対応

- 港湾深淺測量
- 漁場調査・管理
- ダム湖調査
- パイプライン調査
- 沈船調査
- 海洋研究